

牛道春秋

駐在妻の欄

▼夏休み中、中学二年生の長男が勤労体験学習で自動車整備工場に二日間お世話になりました。▼行く前までは「一人だし緊張するな。」などと主人ゆずりの肝っ玉の小さい発言を繰り返していましたが、帰宅するなり「楽しかった!!」と体験内容を色々話してくれました。▼二日目になると「僕もうタイヤ交換できるカモ。」などと主人ゆずりの大口を叩いていました。▼最終日にはお土産もいただき、感化されたのか作業服のツナギを欲しがると主人ゆずりのミーハーぶりも発揮していました。▼しかし、洗車の仕方教えてもらったはずなのに、あれから約一カ月、我が家の自家用車は汚れたまま、雨が降るとフロントガラスが油膜でガラガラしています。▼それはまるで当直明けの主人の頭皮の様です。

▼体験終了後、長男は、体験先へのお礼の手紙を一向に書こうとせず、夏休み最終日に慌てて書いていました。▼その姿はまるつきり月末の主人と重なり、ため息が止まらない夏の終わりでした。



長男(中二)